

平成30年度事業報告書

1 事業の成果

平成30年度は、昨年度末から続いていた、北海道と滋賀県における性表現等に関する評論書の有害図書指定と、海賊版サイト対策のためのインターネット規制(サイト・ブロッキングやダウンロード違法化の拡大)検討という、差し迫った二つの問題への対応に注力した。

法学等の専門家による論点解説や、利害関係者の声を、講演会やインターネットで発信することによって、問題の存在の社会的認知を広げ、政策形成の場や報道等における論点化を一定程度できたと考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
表現の自由に関する啓発事業	啓発活動の促進 表現の自由の擁護に関する活動を行う者に対して、研修機会の提供や、海外情報の紹介等を中心とした情報面の支援をすることで、表現の自由に関する啓発活動の促進を図った。	通年	日本全国及び海外	8人	受不特定多数の人々	1,975
	「著作権侵害サイトのブロッキング問題に関するシンポジウム」共催 登壇者：森亮二（弁護士）、上沼紫野（弁護士）、立石聡明（JAIPA）、野口尚志（JAIPA）、河村真紀子（主婦連合会） 司会：中川譲（MIAU）	4月16日	東京	10人	受講者約100人及び不特定多数の人々	30

	<p>講演会「北海道と滋賀県における有害図書制度の運用に関する論点解説」 講師：曾我部真裕（京都大学大学院法学研究科 教授） 登壇者：黒沢哲哉（作家）</p>	6月23日	京都	4人	受講者約60人及び不特定多数の人々	178
	<p>講演会「ダウンロード違法化拡大の論点解説」 講師：大屋雄裕（慶應義塾大学法学部教授）</p>	1月20日	東京	4人	参加者約60人及び不特定多数の人々	131
	<p>「違法ダウンロード範囲拡大を考える院内集会」 登壇者：登壇者：竹宮恵子（マンガ家／日本マンガ学会会長）、赤松健（マンガ家／日本漫画家協会常務理事）、大屋雄裕（法学者／慶應義塾大学教授）、藤本由香里（編集者／明治大学教授）</p>	2月8日	東京	7人	参加者約100人及び不特定多数の人々	197